

希望する派遣先大学を決める際に考慮すべき点

まず初めに、学部生は希望する派遣先大学を 10 まで選択出来るが、どの大学に内定した場合でも問題なく留学出来るよう、希望する全ての大学について、必ずご自身で希望派遣先大学の Fact sheet やウェブサイトで以下の各項目を確認すること。

1. 成績要件

- 派遣先大学が成績要件を課している場合、4.0 スケールに換算の上、確認すること。換算方法は、学士課程ハンドブック「6-6 学士課程 GPA 制度に関する要項」(301～304 ページ)を参照。また、成績評価係数計算シートでも換算が可能。
- 内定時には成績要件を満たしていても、出願時に提出する最新の成績で成績要件を満たさない場合には、内定取消となるため、注意すること。

2. 語学要件

- 《夏出発第 1 回、または冬出発に応募する場合》
内定後、募集要項に記載の期日または留学支援係から個別に連絡する期日までに、派遣先大学が定める語学要件を満たす語学能力証明書を提出すること。学内選考基準を満たしていても、このタイミングで派遣先大学の出願要件を満たしていない場合、内定取消となる。学内選考応募時に希望する大学の語学要件（含：セクションスコア）を満たしていない場合、速やかにスコアを上げることが出来るか冷静に判断すること。
- 《夏出発第 2 回に応募する場合》
応募時点で、派遣先大学が定める出願時語学要件を満たす必要がある。要件を満たす語学能力証明書を提出できるか確認すること。（セクションスコア、スコア有効期限等）

3. 希望する大学で行われる授業の言語

ヨーロッパの非英語圏の大学では多くの場合、英語で行われる授業が少ない傾向がある。

派遣先国・地域の言語の語学要件を満たしておらず、英語で行われる授業を履修することを想定している場合、予め、希望する大学のコースカタログを確認し、履修出来る科目が十分あるかを確認すること。

4. Academic background / Pre-requisite

Exchange Students に履修制限を求めない大学がある一方、一般的には様々な要件が課される。以下、例：

- (1) 派遣先大学で所属する学部は派遣元大学で学んでいる分野であること、留学開始前に少なくとも所属する学部の分野の科目を 60 単位取得していること、など
(一般的には法学部・社会学部の学生がビジネススクールに留学することは難しい)
- (2) 特定のキャンパスや学部を希望する場合には、学期開始前に指定された科目の単位を取得済であること
- (3) 履修する科目は所属する学部の科目に限る、他学部科目の履修は X % まで且つ教授の承認が必要

要、など

また、コースカタログを詳しく見ると、科目の中には Pre-requisite が示されている科目も多く、交渉すれば履修が認められるケースがあるものの、履修できる科目を想定しておく必要がある。なお、履修科目の交渉に教務課は関与しない。

5. 生活費

本学および日本学生支援機構(JASSO)による奨学金は留学を希望する学生に広く奨学金を支給するものであり、受給者は生活費を当該奨学金により全て賄えるものではない。特に昨今、海外における物価の高騰や円安により留学費用が高騰しているため、各国の物価や必要な費用を十分確認したうえで、派遣先や派遣期間等を計画し応募すること。

また、派遣留学制度では、本学に授業料を納めることで、派遣先大学の授業料が免除となるが、その他派遣先大学が求めるサービス料や施設使用料などの費用は派遣学生の負担となる。派遣先大学の HP や Factsheet 等を確認すること。

6. 寮

留学中の住居は学生自身で手配する必要がある。近年、特に欧州で住居不足が深刻化しており、留学中の住居不足について派遣先大学から注意喚起があったり、寮以外の宿泊先を手配する際、大きなトラブルになるケースが増えている。留学中の住居が手配できないと、留学を辞退せざるを得なくなる可能性もある。また、住居費用負担が大きく、通学距離が長くなる傾向にある。アジアの大学など、大学によっては留学生に寮が用意されている場合もある。留学中に寮に入ることを希望している場合は、希望派遣先大学が寮を提供しているかどうか、入寮できるかどうか確認すること。

7. 治安

本学では協定校の多角化を図っているが、派遣先国・地域は必ずしも治安が安定しているとは限らない。大学自体が魅力的であっても、ご家族等が治安を心配されるケースもあるため、予め自身で派遣先国・地域の状況を十分に確認し、ご家族等と相談の上、出願すること。

8. 留学期間と本学での履修について

派遣留学期間中（オリエンテーション開始日から最終試験日まで）は、主ゼミナールを除いて本学の授業を履修することは出来ない。（※大学院生は所属研究科に確認すること。）

また、留学前の本学授業の履修については、留学先大学の学期開始日までに終了するものだけに履修を認める。なお、留学を理由とする授業・試験等の欠席及び追試申請については、特別の配慮（オンラインでの履修やレポートの提出で代替する等）は認められないため注意すること。対面で授業や試験が行われている科目の場合、渡航日までに終了している科目のみ履修を認める。（対面で試験まで行われる科目の場合、渡航前までに授業も試験も完了していれば履修可能。）

オンラインやオンデマンドで実施される科目についても、派遣先大学の学期開始日までにすべての授業が完了し、試験やレポートを完成させる必要がある。（オンライン科目でも教場試験が実施される場合があるため、注意すること。）

また、最終試験日が6月であるところ、就職活動のために5月に帰国したい、というような希望は認められない。

9. 留学期間（セメスター数）の決定について

応募時に申請した留学期間を変更することはできない。様々な要素を勘案し、希望する留学期間を決定すること。

- 4年で卒業するか、5年かけて卒業するか
- 留学前に卒業に必要な単位をどの程度取得できるか
- 就職活動はいつ行うか
- 希望大学の学年暦を確認し、留学が決定した場合の派遣留学期間はどのくらいか など

10. 各大学の特性

履修出来る科目数の上限、履修必須の科目数などを定めている大学がある。イギリスの大学は「1学期に 60 単位履修すること」とのルールを設けており、最初の学期で取得単位が不足すると滞在許可が取り消される場合もある。履修ルールは様々であるため、個別に確認すること。

11. 参考情報

- 国際交流教育センターのウェブサイト
[交流協定校 - 国際教育交流センター | 一橋大学 \(hit-u.ac.jp\)](https://www.hit-u.ac.jp/)
- 留学生・海外留学相談室
[留学生・海外留学相談室 - 国際教育交流センター | 一橋大学 \(hit-u.ac.jp\)](https://www.hit-u.ac.jp/)
- HEPSA
[HEPSA/一橋大学派遣交換留学生の会 - Bridge the People](https://www.hepsa.jp/)
- 派遣留学体験記
manaba コース番号：142002 コース名：一橋大学海外派遣留学制度
- 如水会「留学生レポート」
manaba コース番号：2021061701 コース名：如水会「留学生レポート」